

すわみつえ通信

No.370 2025年8月18日

日本共産党鴻巣市議会議員
諏訪 三津枝



連絡先 鴻巣市赤見台3-2-7
TEL: 596-9440 FAX: 507-4151
携帯: 080-5039-2785
E-mail: mi-suwa@ezweb.ne.jp
mitsue-suwa@jcom.zaq.ne.jp

WEBで

すわみつえ



身近な議員として もっと届けたい声がある 声をかたちに

戦後80年 非戦の誓い 被ばく80年 核兵器のない世界へ

終戦記念日 市内各地域で宣伝

戦後80年の終戦記念日に、川里地域・北鴻巣地域・吹上地域・高崎線西側地域を宣伝カーで回りました。「戦争をしない」と誓った憲法を守り、次の世代に引き継いでいくことを訴えました。

米国による原爆投下から80年の節目となる今年は、とりわけ声を大にして「核はいらない」と訴えたいと思います。「人類と核は共存できない」と訴え続けた日本被団協のノーベル平和賞受賞は「核兵器のない」世界をめざす運動を大きく励ましています。「核兵器が安上り」などともありません。核兵器禁止条約への参加を引き続き日本政府に求めています。



吹上駅宣伝(写真上)
北鴻巣駅宣伝(写真左)

高校生が描いた原爆の絵が市庁舎に展示

新日本婦人の会鴻巣支部は、高校生が描いた原爆の絵を市庁舎1階ロビーに展示してもらう活動を行い、8月14日から8月28日までの展示が実現しました。身近なところから、原爆の悲惨さを伝え繋ぐ運動が進められています。



桶川北本民主 商工会(民商) 第39回定期総会 に参加



すわ市議(左) 竹田市議(右)

8月9日に開催された桶川北本民商の定期総会に来賓として参加いたしました。鴻巣市議会6月定例会に、インボイス廃止を求め国への意見書提出の請願書の結果について挨拶させていただきました。総会議案書においても「消費税10%は営業と暮らしを苦しみ、インボイスは小売業者やフリーランスをさらに廃業においやる」と報告がされていました。

物価高騰からくらしと生業を守る運動を引き続き連帯していきます。

「戦後80年にあたって」日本共産党 田村智子委員長 談話

戦後80年の終戦記念日にあたり、日本軍国主義による侵略戦争と植民地支配によって犠牲となられた内外の方々に深い哀悼の意を表します。

日本共産党は、憲法に刻まれた不戦の誓いをあらたにし、「戦争国家づくり」を止めるために、全力を尽くします。 <全文は右のコードから検索>



毎週朝 駅頭においてホットなニュース「すわみつえ通信」をお届けします。

(月)吹上駅南口 (火)北鴻巣駅東口 (水)北鴻巣駅西口 (木)吹上駅北口 (金)鴻巣駅西口

敗戦忌永遠に戦後であれかしと

【俳句コーナー】

瑠璃子

8月は80年前、日本によるアジア・太平洋地域への植民地支配、侵略戦争が敗北に終わった月である。参政党の神谷宗幣代表は、戦前の歴史について聞かれ「大東亜戦争は日本の自衛戦争であったという考え方もできる」と持論を述べていた。歴史を知らないのか、他国への侵略を本気で肯定しているのか。「過去に目を閉ざす者は結局のところ現在にも盲目となります」というワイツゼッカー元ドイツ大統領の有名な演説を思い起こそう（「荒れ野の40年」1985年）。「非人間的な行為を心に刻もうとしない者は、またそうした危険に陥りやすい」。ナチスの犯罪を繰り返さないという決意である。

戦争をふりかえるとき重要なのは軍と軍の攻防の物語ではなく、戦争に苦しめられた住民の実態に迫ることである。戦争で一番大きな被害を受けるのはいつも名もない住民だ。今は餓死者さえ多く出しているガザのジェノサイド（集団殺害）がテレビで放映され、その非人間的な行為にだれもが胸を痛めている。『詩人会議』8月号は、「戦後80年 明日へ」を特集。戦争に関する詩やエッセーはすべて住民の視点だ。そこで語られた苦しみのお話の集積にこそ、戦争の歴史に迫る道筋があるのだろう。

広島原爆80年の日に受けた思いやり ●英国

8月5日に、通っている協会の牧師から少し驚く内容のメールが届きました。この教会では日曜以外にも、水曜礼拝を行っており、「6日(水)の礼拝で、広島・長崎の原爆について話したい。内容を先に読んでもらえませんか」と書かれていました。説教の下書きを読むなんて、初めての経験です。

英国には第2次世界大戦の終戦記念日が二つあります。5月8日の「ヨーロッパ戦勝記念日」と8月15日の「対日戦勝記念日」です。「戦勝」という表現は参戦に至る経緯があつてのことですが、日本人の私には複雑な思いがよぎります。また、あらゆる戦争を否定したい気持ちもあります。牧師と一部の信徒は、私の気持ちに気付いていたようでした。



平日朝の礼拝は、小さな礼拝堂で行われます。

下書きには二つの原爆投下と被害に加え、日本のキリスト教史にも触れ、平和への祈りで結ばれていました。教会に通うたった2人の日本人（私と夫）に配慮し、慎重に言葉を選んで作成された文章でした。「すばらしいです。ありがとうございます」と返信すると、「ぜひ明日の礼拝に来てほしい」と言われました。実際の説教は、下書き以上に感情がこもった、原爆犠牲者とその家族を深く悼むものでした。戦争は難しいテーマですが、日本人である私に教会が寄り添ってくれたことに感動しました。

〔ロンドン在住 宮田華子 写真も しんぶん赤旗 8月11日付〕

消費税減税・廃止が過半数 2万円給付はすべきか「そうは思わない」6割 NHK世論調査

NHKが8月9～11日に実施した全国世論調査によると、先の参院選で野党が物価高対策として掲げた消費税の減税や廃止についての質問に、「税率を引き下げるべき」との回答は43%、「消費税を廃止すべき」が15%と合わせて過半数の58%に上り、「今の税率を維持すべき」の33%を上回りました。

一方、与党が参院選で掲げた国民1人あたり2万円などの給付を実施すべきだと思ふかとの質問に、「そう思う」は32%にとどまり、「そうは思わない」が59%に上りました。

調査は全国の18歳以上の固定電話と携帯電話の無作為の番号に電話をかける方式で行われ、2739人のうち42%にあたる1137人が回答しました。〔しんぶん赤旗 8月14日付〕